

センターTOPICS

令和5年7月1日～7日

オガサワラカワラヒワ生息状況調査

母島属島の姉島、向島、平島において専門家に同行いただき、絶滅が危惧されているオガサワラカワラヒワの調査捕獲を実施しました。昨年度の調査では成鳥及び幼鳥の目撃が非常に少なく、危機的状況と危惧されていました。今回の調査では、合計67羽のオガサワラカワラヒワが捕獲され、まだまだ危機的状況にあるものの、胸をなでおろす結果となりました。



専門家によるオガサワラカワラヒワの計測

また、平島には、父島ではノヤギに食害されて野生下ではほとんど見ることができないオオハマギキョウが花芽を付けていました。オオハマギキョウは、実生から5～6年後（個体差あり）に花をつけ、種子を大量に落とし幹は枯れてしまいます。



大型のオオハマギキョウ（3m）

